

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	+laugh		
○保護者評価実施期間	2026年1月5日		2026年1月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2026年1月5日		2026年1月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多様なご利用者様への関わり方 利用者アンケートでは、通所を楽しみにしている様子や活動に興味を示している様子が見られた。また、活動に関する項目でも前向きな意見が見られ、ご利用者様の状態や特性に応じた関わりが行われていることがうかがえる。	医療的ケアを含めご利用者様一人ひとりの体調や状態を把握しながら関わりを行っている。看護職員を中心に療育職員や機能訓練職員が情報共有を行いながら、安心して過ごせる環境づくりを行っている。	今後もご利用者様の体調や状態の変化を丁寧に把握しながら関わりを高めるとともに、多様な状態の利用者が安心して過ごせる環境づくりを継続していく。
2	地域との関係の中で生活の広がりをつくる取り組み 活動や通所の様子について、ご利用者様が楽しみながら過ごしている様子が見られた。日々の活動を通して様々な経験の機会があることがうかがえる。	事業所内での活動だけでなく、地域との関係や生活の広がりを意識した関わりを行っている。ご利用者様が様々な経験を重ねながら生活を豊かにしていけるような活動内容を工夫している。	今後も地域との関係の中でご利用者様の生活が広がるような機会を大切にしながら、ご利用者様が地域の中で過ごす経験を増やしていく取り組みを進めていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報共有や連絡体制のさらなる整理 利用者アンケートでは、送迎時の連絡や情報共有について改善の余地を感じるという意見が見られた。また、緊急時対応に関する項目でも「分からない」という回答が一部見られた。	職員の勤務時間帯や役割の違いにより、情報共有の方法が十分に整理されていない場面がある。また、送迎時など限られた時間の中での連絡となるため、説明が十分に行き届かない場合がある。	職員間での情報共有方法を整理し、ご利用者様の状況や連絡事項が確実に共有される体制づくりを進めていく。また、ご家族様への連絡方法についても見直しを行い、より丁寧な情報共有ができるよう取り組んでいく。
2	環境面や安全面の継続的な見直し 利用者アンケートでは、スペースの使い方や安全面に関する意見が一部見られた。	活動や送迎の時間帯によってはスペースや動線が混み合うことがあり、安全面について継続的な確認が必要である。	活動スペースや動線の整理、物品配置の見直しなどを行い、安全に過ごせる環境づくりを進めていく。また、災害時の対応や避難方法についても職員間で確認し、安心して利用できる環境整備に努めていく。
3			